

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】平成20年9月18日(2008.9.18)

【公表番号】特表2008-509791(P2008-509791A)  
 【公表日】平成20年4月3日(2008.4.3)  
 【年通号数】公開・登録公報2008-013  
 【出願番号】特願2007-527918(P2007-527918)  
 【国際特許分類】

A 6 1 N 5/06 (2006.01)

【F I】

A 6 1 N 5/06 Z

【手続補正書】

【提出日】平成20年8月1日(2008.8.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

光を発するための発光体を備え、発光体は 1 つまたは複数の光ファイバの層を含み、光ファイバが発光体の少なくとも一方の端部から延伸する端部分を有し、端部分が互いに強固に固定されており、端部分に光の焦点を合わせ、発光のために発光体に光を伝送するための少なくとも 1 つの発光ダイオード (LED) を含む光源を備え、

前記少なくとも 1 つの LED はハウジング内にあり、かつハウジング内の少なくとも 1 つの LED により発生する過剰な熱を分散させるために、ハウジングの背面に付着されるヒートシンクに取り付けられる、患者に光線療法による治療を施すための光線治療装置。

【請求項 2】

ハウジング内の少なくとも 1 つの LED により発生する過剰な熱を分散させるために、ハウジングから外方にヒートシンクから突出するフィンをさらに備える、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 3】

光ファイバが、発光体の両端から延伸する端部分を有し、これが同じ 1 つまたは複数の光源を使用して、発光体の両端を照らすために混合される、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 4】

発光体は幅が厚さよりも大きく、半透明または透明な保護カバーによって囲まれる、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 5】

端部分に光の焦点を合わせるための複数の LED があり、複数の LED のうち少なくとも 1 つの光出力は青色帯域を有し、少なくとも別の 1 つの LED の光出力は、青色帯域と選択的に混合される別の色帯域を有する、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 6】

ハウジング内に複数の LED と、2 つ以上の LED に近接し、2 つ以上の LED からの光の焦点を端部分に合わせるためにハウジング内に単一の多面レンズとがある、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 7】

発光体の異なる区分の端部分が 1 つまたは複数のグループにまとめられ、発光体の異なるセグメントの端部分のグループが異なる LED により照らされ、発光体のいずれかのま

たは全ての区分を選択的に照らすため、任意の数のＬＥＤを選択的に照らすための手段をさらに備える、請求項１に記載の装置。

【請求項８】

ＬＥＤからの光出力を実質的に一定に保つために、ＬＥＤからの光出力の低下に応じてＬＥＤへの入力電圧を増加させる手段をさらに備える、請求項１に記載の装置。

【請求項９】

ＬＥＤへの入力電圧量を増加させる手段が、ＬＥＤからの光出力に比例する光源からの迷光を検知する光電セルと、ＬＥＤからの光出力が低下するとＬＥＤへの入力電圧を増加させる回路とを備える、請求項８に記載の装置。

【請求項１０】

ＬＥＤが古くなるとＬＥＤへの入力電圧を増加させるために使用される、ＬＥＤ平均寿命曲線に基づき予めプログラムされる出力曲線をさらに備える、請求項１に記載の装置。

【請求項１１】

ハウジング内に複数のＬＥＤがあり、複数のＬＥＤのうち少なくともいくつかは、端部分に焦点が合わせられる光の帯域が異なる、請求項１に記載の装置。

【請求項１２】

光を発するための発光体を備え、発光体は１つまたは複数の光ファイバの層を含み、光ファイバが発光体の少なくとも一方の端部から延伸する端部分を有し、端部分が互いに強固に固定されており、端部分に光の焦点を合わせ、発光のために発光体へ光を伝送するための複数の発光ダイオード（ＬＥＤ）を備え、複数のＬＥＤのうち少なくとも１つの光出力は青色帯域を有し、少なくとも別の１つのＬＥＤの光出力は、青色帯域と選択的に混合される別の色帯域を有する、患者に光線治療による治療を施すための光線治療装置。